

木谷ゼミ		募集人数 6 名	
ゼミ説明	① 12 月 4 日（木）12:10～12:50 場所：木谷研究室（323） ② 12 月 8 日（月）12:10～13:00 場所：木谷研究室（323）		
選考日時	平成 27 年 1 月 8 日（木）12 時 15 分		
選考場所	3 号館 3 階 33 セミナー室		
選考方法：面談			
27 年度のゼミ内容、その他			
●テーマ 経済史（&経営史）—さまざまなトピックについて議論します。 これまでのトピック：実業教育、世界覇権、インド財閥、今後の日本産業の発展、日英経済システム…など。			
●ゼミの目的 ①自分が関心を抱く問題やゼミで取り上げたトピックをめぐる、歴史的背景を理解すること。 ②テーマの発見や関連する情報の収集・分析が主体的に行えるようになること。 ③プレゼンテーションスキルや文章力を向上させること。			
●主なゼミ活動 (1)テキスト輪読（3 年次前期）—第 1 回ゼミで数冊の候補の中からテキストを決定します。 R. キャメロン&L. ニール著、速水融監訳（2013）『概説世界経済史Ⅱ —工業化の展開から現代まで』東洋経済新報社／F. アマトーリ & A. コリー著、西村成弘 & 伊藤健市訳（2014）『ビジネス・ヒストリー —グローバル企業誕生への道程』ミネルヴァ書房／内藤雅雄・中村平治編（2006）『南アジアの歴史』有斐閣／川北稔（2010）『イギリス近代史講義』講談社（講談社現代新書）…など（他に数冊候補あり） (2)グループ研究（3 年次後期）—前期の輪読内容をふまえてテーマを決定します。 2012 年度：「インド農業の改革 ～緑の革命がもたらしたもの～」 2013 年度：「1850-1920 年代のアメリカ鉄道業の労働問題への政府の介入」 2014 年度：「20 世紀のイギリスにおける男女賃金格差からみた女性労働環境」 「英国人による移民労働者への差別に対する改善策」 ※グループ研究の成果は、12 月に開催される 3 大学インターゼミナール学生発表会で発表します。 ※3 年次は、前期末・後期末の 2 回、レポートを提出してもらいます。 (3)卒業論文作成（4 年次）—1 年かけて自分のテーマを追究します。今までに取り組まれたテーマ↓ 「ソ連崩壊後の東欧諸国の経済発展」「日本の ODA の現状と課題」 「花祭りの将来 —無形文化遺産登録の可能性と今後とるべき措置の検討—」…など。 (4)その他（3 年・4 年合同）—ゼミ生による活動企画は大歓迎です。 フリーテーマプレゼン、学外施設見学（博物館、名古屋城、科学館 etc.）、スポーツ交流…など。 ※上記の発表会以外にも、学内外の他ゼミとの合同研究報告会に参加予定です。 ★ゼミ活動について質問があれば、気軽に研究室を訪ねてください。上記以外の時間帯でも在室中ならば対応します。メールでの質問はこちらまで → kitani@econ.nagoya-cu.ac.jp			